

【参考資料】シンポジウム”女性の力で変革を “ 3.11 から 5 年 忘れない・つながる・動く

## 報告《ジェンダーと災害に関するアジア太平洋地域会議に参加して》

男女共同参画と災害・復興ネットワーク 事務局長 大野 曜  
国際担当 柳下 真知子

**開催の趣旨：**アジア太平洋地域は世界で最も災害が多い地域で、1994 年から 2013 年までの期間に、世界の自然災害の 40%が起きている。災害は男女を区別しないが、その影響はジェンダーに中立ではない。第 3 回国連防災世界会議で採択された仙台防災枠組 2015-2030 (SFDRR) は 7 つのグローバル・ターゲットを定め、4 つの優先行動を掲げている。各国政府は防災担当部局を設け、SFDRR の国内での実施に向けて国内ターゲットを定める。国内レベルの防災行動にジェンダーの視点を組み込み、ジェンダーの主流化を強化するには、明確なジェンダー・ターゲットをすべての優先事項について定めることが不可欠である。

UN Women は、SFDRR 実施 1 周年を記念して、日本政府とベトナム政府の協力を得て、SFDRR の 4 つの優先行動について、さらにはジェンダー関連の新たな課題、気候変動やリスクの高い多様な社会グループなども課題として提起し、ジェンダー・ターゲットを討議する地域会議を開催し、各国政府がジェンダーの視点で国内ターゲットを定めるよう働きかける。

**開催期日** 2016 年 5 月 16 日(月)～18 日(水)、現地視察：19 日(木)  
**主催** UN Women、ベトナム政府(農業・農村開発省)、日本政府  
**会場** シェラトン・ハノイ・ホテル

**参加者** アジア太平洋地域のジェンダーと災害を所管する政府、政策決定者、実務担当者  
研究者、国連機関、国際機関、NGO 等 22 か国、332 人  
日本からの参加者 内閣府男女共同参画推進官石橋英宣、水資源機構副理事長西川智、国際協力機構田中由美子、同高木亨恵、日本開発サービス野々口敦子、お話ころりん代表江刺由紀子、国連ウィメン日本協会理事三輪敦子、JWNDRR 大野曜、同柳下真知子

**成果文書** Ha Noi Recommendations for Action on Gender and DRR (ジェンダーと災害リスク削減 (DRR)に関する行動のためのハノイ提言)

### 優先行動1. 災害リスク削減への理解

(提言 1) 国/地方レベルのジェンダー/年齢/障がい別に細分化したデータ (SADDD)、および社会経済関連の基礎データの確立と定期的更新。ジェンダー別にみた災害リスクの差の情報提供、及び災害へのレジリエンス強化のモニターリング。

(提言 2) データ収集、分析、利用、管理能力強化のための国/地方レベルの各分野にまたがる仕組みの構築。SADDD の共有とジェンダー/多様性分析による政策およびプログラムへの助言。

(提言 3) ジェンダーの視点に立った指標を伴う仙台枠組目標の設定と観察。

### 優先行動2. 災害リスクを管理する災害リスク・ガバナンスの強化

(提言 1) 災害リスク削減のための法制度の強化。

(提言 2) 女性と女兒のリーダーシップ能力開発への投資、DRR においてすべての分野で活発にかつ実質的にその役割を発揮できる環境整備。

### 優先行動3. 災害リスク削減におけるレジリエンス強化への投資

(提言 1) 持続可能で自立につながる生計の特定と支援を通し、女性のレジリエンス強化に投資。

(提言 2) 気候変動や災害のリスクを軽減するため、社会的な保護と福祉に投資。

(提言 3) 潜在的な危険を排し、女性の多様なグループのニーズに対応した公共・民間施設基盤の整備。

### 優先行動4. 災害への備えとよりよい復興におけるジェンダーの側面

(提言 1) DRR に貢献するジェンダー役割と権利、能力への意識を高め、誰もが排除されないアクセス可能な教育を増強。

(提言 2) 現在のリスクを減らし、新たな性に基づく差別と暴力を予防する安全と保護。

(提言 3) 誰もがアクセス可能な早期警戒システムを含む防災準備における女性と多様なグループのリーダーシップの組織化。

## プログラムの概要

### 第1日目(5月16日) 共通理解の形成

午前 (9:00-12:00)

- ・開会 趣旨説明:ベトナム農業・農村開発省、UN Women  
挨拶: Coo Duc Phat (ベトナム農業・農村開発大臣)  
Roberta Clarke (UN Women アジア太平洋地域ディレクター)  
深田博史 (駐ベトナム日本国特命全権大使)  
Fengmin Kan (UNISDR アジア太平洋地域局長)
- ・全体会: 仙台枠組の成果文書と優先行動とアジア太平洋地域におけるジェンダーの意味すること
  - ◆「第3回世界防災会議の成果と仙台防災枠組 2015-2030」
  - ◆「災害リスク削減(DRR)及び持続可能な開発に向けて提案されたグローバル目標、指標、ターゲット」
  - ◆「ジェンダー平等とグローバル枠組みと政策:仙台枠組み、持続可能な開発目標、気候変動に関するパリ協定」
- ・サイド・イベント 「目に見えない知られていない災害における性暴力」 国際赤十字社が行ったグローバル調査結果の発表、ミャンマーの場合

午後 (13:30-17:00)

- ・全体会: ジェンダー平等と災害リスク削減(DRR)
  - ◆「DRRにおけるジェンダー平等の進化」
  - ◆「兵庫行動枠組と仙台枠組におけるジェンダー平等の前進」
  - ◆「ジェンダー平等, DRR, 気候変動についてのCEDAW委員会への勧告」
- ・全体会: パネル ジェンダー平等を DRR の中心に据える〜アジア太平洋地域の経験

### 第2日目 ジェンダー平等と DRR に関する取り組みの進展状況, ベストプラクティスと課題

午前 (8:30-12:00)

- ・全体会: ジェンダーを盛り込んだ仙台防災枠組のアジア太平洋地域における実施
  - ◆「仙台枠組実施の地域計画案及びアジア防災閣僚会議に向けて」(UNISDR)
  - ◆「太平洋地域フィジー政府の取り組み」
  - ◆「仙台枠組の実施計画にあたってのジェンダーへの考慮について」(Duryog Nivaran)
- ・分科会: ワーキング・セッション  
セッション1: 災害リスクの理解—ジェンダーと災害データの収集, 分析, 利用, 管理  
2: ジェンダーとリスク・ガバナンス  
3: ジェンダーとレジリエンス強化への投資  
4: 災害への備えとより良い復興のジェンダー側面
- ・サイド・イベント: 「様々な障がいをもつ人々の経験の共有」ハノイ障がい者団体及び障がいを排除しない DRR ネットワーク

午後 1(13:30-17:00)

- ・全体会: パネル 女性のリーダーシップと DRR への参画
- ・全体会: 気候変動とジェンダー平等、災害リスク削減
- ・全体会: ジェンダーとコミュニティ・ベースの災害リスク管理
  - ◆「スリランカとフィリピンでの事例:ジェンダーとコミュニティ・ベース災害リスク削減」
  - ◆「ベトナムの経験」
  - ◆「災害とコミュニティ・ベースの災害リスク管理における障がい(者の)主流化」

### 第3日目 言葉だけではない今後の取り組み

午前 (9:00-12:00)

- ・全体会: 行動に向けた鍵となるジェンダー平等と災害リスク削減の優先事項
- ・分科会: ワーキング・セッション

午後(13:30-15:45)

- ・全体会: アジア太平洋地域におけるジェンダーと災害リスク削減(DRR)のための優先事項に関する提言および行動(地域・国・コミュニティレベル)
- ・閉会

### 第4日目 現地視察(UN Women とベトナム女性ユニオンによる防災プロジェクト)

ハノイから北へ 150 キロ, Yen Hung Commune (Van Yen district, Yen Bai province)  
女性のエンパワーメントとリーダーシップを防災分野で促進させた成功例地域を訪問。